

梅津清隆 Kiyotaka Umezu, DDS, MS, DABOI

1997年 日本歯科大学歯学部卒業

2003年 米国カリフォルニア州ロマリング大学歯学部インプラント科卒業

2005年 米国カリフォルニア州インプラント専門医取得(American Board of Oral Implantology)

現 歯科オーシーキューブ銀座(Dental Office OC3 Ginza)院長

Academy of Osseointegration 会員

Osseointegration Study Club of Japan (OJ) 会員・常任理事

演題

エビデンスと臨床経験・成績との Blending Effect

Blending Effect of Evidence, Clinical Experience and Outcomes

抄録

近年、医科、歯科共にエビデンスという言葉が浸透してきた。特に歯科分野においては、歯周治療、インプラント治療、歯内療法、補綴治療、矯正治療などの専門性も確立しつつ、認知度も上がり、患者層への関心も深まってきた背景もその理由の一つであろう。エビデンスと一言で言っても、国、学閥、スタディークラブなどによってその解釈は様々である。また、日本においては歯科医院が65,000件以上もありながらも、術後研修は義務化されておらず、それぞれの医院での解

積の熟成や情報共有の難しさもあるのが現状である。 そうした数ある歯科医院の中、自身のクリニックにて、米国の専門医として、日本の歯科医療に携わり約 20 年が過ぎようとしている臨床において、自己の思考能力と技術力と共にある、エビデンスというものの位置付けとその配合効果、blending effect について臨床症例を交えて講演をしたい。